

佳作
(高校部門)

大阪府立春日丘高等学校 2年

下徳 しもとく
藍 あい

失敗した回数と同じくらい、上手くいったこともあるんじゃない？
見えてへんだけで

母

私は腹痛や吐き気を催しやすい体質で、授業中急にしんどくなったり、母の作ってくれる弁当を完食できない日が多々あった。

ある日の帰宅後、母の顔を見たら涙が出た。なぜ自分は他の子と同じように元気にいられないのだろうとつらくなると同時に、弁当を完食できなくて申し訳なかったからだ。すると母はわけも聞かず私を抱き寄せ、この言葉を私にくれた。

確かにそうだと思った。一日中しんどくならず元気な過ごせる日だつてたくさんある。私はそれに気付かず「私はできない」といつもひたすら自分を責めていた。それから、しんどくなくてもそれほど気にならなくなった。しんどくなった時は、いつもこの言葉を思い出している。